

◎ギリシャ訪問（８・９年生）

１０月２７日（月）から１１月３日（月）の７泊８日で、８・９年生がギリシャ訪問を行いました。アテネでは、市内のアクロポリスを観光し、古代ギリシャの聖域を見ることができ、その迫力に驚いていました。デルフィ市では、地元の中学生と交流したり、アポロン神殿や利賀の野外劇場に通ずるものを見たりすることができました。メテオラでは、世界遺産の修道院を見ることができました。ギリシャ訪問のテーマ「対話（Dialogue）～感じ合い 深め合おう 日本とギリシャの文化と絆～」を意識して活動し、楽しく、充実した訪問になりました。



◎ロンレー子ども村閉村式

ロンレー子ども村の閉村式が１０月２日（木）に開催されました。今年最後のロンレー村での活動として、低学年の子供が考えた森の素材を使ったお面づくりなど、秋が深まる中で、みんな元気に体を動かして楽しむ姿が見られました。



※その他の学校行事は利賀学舎ホームページで紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

利賀学舎☆栄光の記録

- ★第６１回富山県中学校生活体験発表会 日本放送協会富山放送局長賞 （８年）
- ★第３３回砺波地区中学校意見発表会「中学生の主張」優良賞 （８年）
- ★第３０回富山県中学校文化祭スローガン選定 優秀賞 （８年）
- ★税についての作品 作文の部 北陸納税貯蓄組合総連合会長賞 （９年）
- ★令和７年度富山県中学校文化祭 美術部門 平面部門 展覧 （８年）
- ★第７０回環境保健衛生大会 ポスターの部 優秀賞 （５年）



利賀学舎 だより

山脈（やまなみ）



令和７年度 第３号

令和７年１２月１８日

南砺市立利賀学舎

ホームページ：

<https://toga-e.nanto.ed.jp>



ギリシャ訪問を終えて

教頭（後期課程）

１０月２７日から１１月３日まで、利賀学舎の８・９年生はギリシャ・デルフィ市との交流訪問に出かけ、私も随行員として共に行動しました。出発日当日には、トランプ大統領の来日で厳戒態勢が取られた羽田空港から出発ということもありましたが、大きなトラブルや怪我、体調不良もなく、予定通りの行程で訪問することができました。

長い歴史のある、ギリシャ訪問ですが、今回も生徒たちにとって、「人生の宝」の一つになったと思います。随行員である私にとっても、心に残る経験がいくつもありました。その一つが、中学校３年生が受けた詩の授業でのことです。ギリシャの詩人カヴァフィスが、人生を旅にたとえて表現した詩『イタケ』（目的・目標）を扱った授業でした。内容は難しく、「さすが、哲学と文学の国、これを授業で扱うのか！」と驚かされましたが、同時に強く心に残りました。以下に、その一部を紹介します。

「イタケに向かって旅に出るときには、どうか旅が長く続くようお願いなさい。

道のりには、多くの朝があり、海を渡るたびに、知らなかった港に出会うでしょう。（中略）

立ち寄る町では、色とりどりの宝物を求め、知恵ある人々の声に耳を傾け、自分の心を豊かにするでしょう。

やがて旅の終わりに、あなたはイタケにたどり着く。

たとえそこが、思ったよりも「小さく」あるいは「貧しく」見えたとしても心配はいりません。

イタケは、あなたに旅を与えてくれたのです。

あの長い年月、あの経験、あの知恵を受け取るためのきっかけとして。

だから、イタケに感謝なさい。すべての意味は、旅の途中であなたの中に育ったのだから。」

この詩を通して、この研修が、生徒一人一人にとって「自分のイタケ（目的）」を探す旅だったのではないかと、思います。ギリシャという新しい場所に立ち、新しい価値観に触れ、言葉に詰まりながらも慣れない英語や身振り手振りで思いを伝えようとした経験。そして、その経験から生まれた学びこそが、これからの人生を照らす「宝物」になるはずだと。生徒たちがこの研修で得た「宝物」を胸に、それぞれが人生における次のステップへと歩み出してくれると確信しています。

このように、訪問する価値がある、「宝物」のような研修ですが、事前準備では、参加生徒の減少だけでなく、急激な円安、（現地の）物価高騰など費用面やデルフィ地域の少子化や移民の増加等の地域（学校を含め）の変化等、次々に課題が出てきました。事務局である学校だけでは対応することが難しかった場面もありました。そのような時も、利賀地域づくり協議会や育成会の方々、関係者の方々からご助言、ご支援やご協力を賜り、解決することができました。深く感謝申し上げます。これまでの交流で培った友情、人とのつながりを大切にしたいという利賀村の皆さまの熱い思いに敬意を表し、今後も引き続き、この交流が続いていくことを心から願っております。

3学期～令和８年４月当初の主な行事予定

※１２月１８日現在の予定です。
今後、変更になることもあります。

【１月】

- ９日（金） 始業式、書初大会、給食開始
- １６日（金） 英語検定
- ２０日（火） ９年生保護者会
- ２１日（水） スキー学習（タカンボスキー場）
- ２３日（金） 半日入学、入学説明会、進級説明会
- ２６日（月） 児童生徒会役員選挙
- ２９日（木） 避難訓練

【２月】

- ２日（月） 学校評議員会
- ５日（木） 県内私立高校一般入試
- １３日（金） 学習参観／９年生保護者会
- １９日（木） 期末考査（後期課程）（～２０日）

【３月】

- ５日（木） 県立高校一般入試（～６日）
- ９日（月） 予餞会（後期課程）
- １１日（水） 同窓会入会式、卒業式予行
- １２日（木） ９年生卒業証書授与式
- １３日（金） 県立高校合格発表
- １７日（火） ６年生を送る会（前期課程）
- ２３日（月） 給食終了
- ２４日（火） 修了式、６年生修了証書授与式

【４月】

- ８日（水） 新任式、始業式、７年生進級式
- ９日（木） 入学式
- １０日（金） 山村留学生を迎える会（予定）
- １７日（金） 授業参観、引き渡し訓練（予定）



2学期の活動から

◎武蔵野市訪問（前期）

9月3日（水）から5日（金）まで、5、6年生が東京都武蔵野市を訪問しました。1日目は、武蔵野市役所で歓迎会と交流会が行われ、「むぎや踊り」を披露しました。2日目は、市内の小学校で授業に参加しました。午後は、アンテナショップで、利賀の物産品の販売体験を行い、お客様へ利賀の魅力を伝えることができ、充実した時間となりました。3日目は、お別れ式をし、国立科学博物館等を見学しました。いろいろな人と触れ合ったり、興味深い体験をしたりすることができました。



◎砺波地区中学校新人大会（後期）

10月11日（土）、12日（日）に砺波地区新人大会のバドミントン競技の部が開催されました。9年生が引退して初めての公式試合でしたが、練習してきた結果を出そうと、一生懸命競技に臨みました。団体戦や個人戦で少しずつ得点を入れることができ、今までの練習の成果を発揮していました。



◎校外学習（7年生）

10月30日（木）に7年生が校外学習を行いました。高岡市の歴史・文化・産業等について見聞・体験することを通して、地域のよさを大切にする心を育てようと活動しました。能作では、工場の中で職人の方の働く姿を見たり、鋳物体験として箸置きづくりを行ったりしました。また、高岡大仏を見学し、大仏の大きさに感心したり、瑞龍寺でガイドの方の解説を聞き、歴史を学んだりしました。どの活動からも地域のよさを見付けることができ、楽しく、充実した訪問になりました。



◎金剛祭（前期・後期）

10月18日（土）に、「輝き～照らそう26色 届けよう最高の笑顔～」のテーマのもと、金剛祭を行いました。この日に向けて準備や練習の段階から1年生から9年生までが力を合わせて取り組みました。当日は来賓、保護者、受け入れ家庭の方など約100名の方々が見つめる中、子供たちは、合唱（前期、後期とも）、「総合的な学習の時間」の劇・まとめ発表（前期・後期とも）、民謡（4～9年生）と多彩なステージ発表に取り組みました。また、全員で係の仕事を協力して行う姿が見られました。テーマの通り、一人一人が「輝き」を出そうと全力でやりきることができ、子供たちは大きな達成感を味わうことができました。

また、ステージ発表では育成会による合唱「未来へ」（kiroro）も披露され、素敵な歌声に子供たちも大きな拍手を送っていました。

根気強く指導してくださった民謡指導者の方々、お忙しい中、会場に足を運んでくださった皆様方、本当にありがとうございました。

